

(別紙4(2))

事業所名: グループホームねむの樹

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 9 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	13	外部への研修参加や講師を招いての勉強会などを行っているが十分に活かされていない。より充実した研修内容と計画を作成し、実践力に繋げていきたい。	専門職としての意識と良識をもち、適切な人材を育てていくとともに、自己研鑽とその実践の結果としての利用者さまの幸福と笑顔がモチベーションとなるよう努めたい。	研修委員を組織するとともに、内部研修を定期的 に実施する。また外部研修においては、その報告 だけに留まらず、活発な意見交換の場を設け、事 業所のハード・ソフトに沿った内容を議論し、実践 に繋げる。	12ヶ月
2	40	買い物から食事準備・片付けまで、利用者様が楽しみながら取り組めるように配慮し、個々の能力に応じた力を発揮していただいているが、検食以外の職員の心配をされる事がある。	準備から食事、片付けまで、利用者さまと同じ時間を過ごす事により、より一層の楽しみを提供し、気づきを持てるようにしたい。	検食は一人であるが、場合によっては経営者に 相談して検討したい。また職員の食事内容が異なる 場合においても、利用者さまの食べたいもの、 喜ばれるものリサーチの一つとして活用してい く。	3ヶ月
3	54	居心地の良い居室空間のため、使い慣れたものや好みのものを利用し、快適にすごして頂いているが、細かな場所への清掃が行き届いていない。	職員のみならず、利用者さまとともに居室の環境整備に努め、習慣となるよう努めたい。また施設において、居室が就寝の場所という意識を越え、季節の飾り付けや配置など、自らの好みや楽しみを生かせる場にしていく。	清掃時には利用者さまに声を掛け、個々の能力 に応じた参加を促し、細部については職員が定期的 に確認する。また生活歴と状況を再度確認し、 安全を考慮しつつ好みの物を取り入れていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。